

信州高遠美術館から展示・イベントのお知らせ

- 3月21日(土)から「東京藝術大学連携40年展 藝大卒展<サテライト>」を開催しています。
- 3月28日(土)に「東京藝術大学学長 日比野克彦氏によるトークイベント」を開催します。
- 4月中は無休で開館しています。
- 5月10日(日)、24日(日)に「刺繍講座～フープアート制作～(全2回)」を開催します。
- 5月17日(日)に「日本画入門講座～秀畝写生の花を描く～」を開催します。

東京藝術大学連携40年展 藝大卒展<サテライト>

【会期】令和8年5月31日(日)まで

【内容】今年、東京藝術大学と伊那市(旧高遠町)が連携事業を始めて40年になります。そのことを記念して東京藝大の卒業・修了作品展から選りすぐりの作品を展示しています。

【作家】今井 菜々美 (日本画 修士)

立川 朋恵 (日本画 修士)

村松 辰之介 (油画 学部)

藤田 汐海 (油画 学部)

勝木 直人 (彫刻 修士)

雨田 まなつ (彫刻 学部)

市丸 蓉 (工芸・彫金 学部)

蓮本 南欧 (工芸・鍍金 学部)

進藤 あすか (デザイン 修士)

後藤 拓真 (デザイン 学部)

棚田 悠介 (建築 修士)

三好 駿平 (建築 学部)

青木 諒花 (先端芸術表現 学部)

高田 清花 (先端芸術表現 学部)

篠崎 遥香 (美術教育 修士)

鶴田 千尋 (文化財保存学・保存修復日本画 修士)

畑山 樹 (グローバルアートプラクティス 修士)



日比野克彦学長によるトークイベント(要予約)

【日時】令和8年3月28日(土)午後5時～(4時30分開場)

【会場】信州高遠美術館ロビー

【料金】入館料のみ必要です(一般800円・割引料金700円)

※高校生以下および18歳未満の方は入館料無料

【定員】100名(定員に達し次第締切)

【予約】2月27日(金)午前9時から電話のみ受け付けます。

【内容】「アートが社会を動かす」東京藝術大学の取組を紹介しつつ、そこでの藝大生や卒業・修了生の活躍についてお話しします。



アートスクール《要予約》

「刺繍講座～フープアート制作～(全2回)」

① 5月10日(日)午前9時30分～11時30分

② 5月24日(日)午前9時30分～11時30分

※開始時刻10分前に美術館集合

【講師】^{なかむらかりん}中村鹿林さん

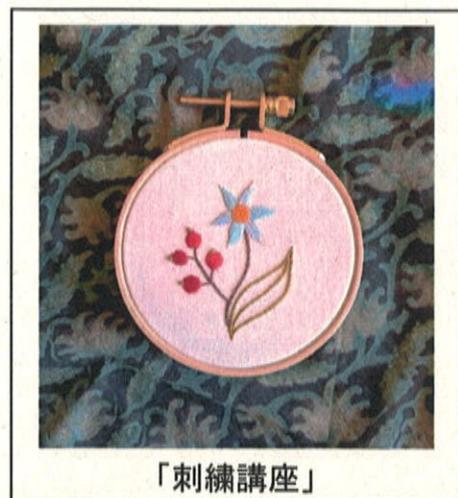
【会場】美術館内 喫茶パレット

【受講料】①、②各1,000円

【材料費】2,500円

【定員】10人

【内容】刺繍枠を額縁として利用し、刺繍を施した作品を制作します。



「日本画入門講座～秀畝写生の花を描く～」

【日時】5月17日(日) 午前9時～午後3時

※開始時刻10分前に美術館集合

【講師】^{むらたひろき}村田裕生さん、^{たかさきしゅうへい}高崎昇平さん

【会場】美術館ロビー

【受講料】5,000円※材料費込

【持ち物】昼食、飲み物、エプロン、雑巾

使い慣れた筆がありましたらお持ちください。

【定員】20人

【内容】日本画家の村田裕生さん、高崎昇平さんを講師に迎えて

日本画入門講座を開催します。高遠町出身の画家・^{いけがみしゅうへい}池上秀畝の花の写生画を使って作品を制作します。



<3月の休館日>

24日(火)、31日(火)

<4月の休館日>

無休

※お問い合わせは信州高遠美術館までお願いします。

TEL: 0265-94-3666 FAX: 0265-94-3936 MAIL: t-bjk@inacity.jp

添付資料 有 無

生涯学習課 信州高遠美術館
担当: 館長 捧
副館長 馬場
電話: 0265-94-3666
F A X: 0265-94-3936
E-mail: t-bjk@inacity.jp

へサテライトへ

東京藝術大学連携40年展

藝 大 卒 展

2026.3.21 SAT (土) → 5.31 SUN (日)

9:00~17:00 最終受付 16:30

【休館日】 3/24(火)、3/31(火)、5/12(火)、5/19(火)、5/26(火)
【入館料】 一般800円(割引料金700円)、高校生以下及び18歳未満の方は入館料無料、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は入館料無料、5/18(月)は、国際博物館の日により入館料無料

信州高遠美術館

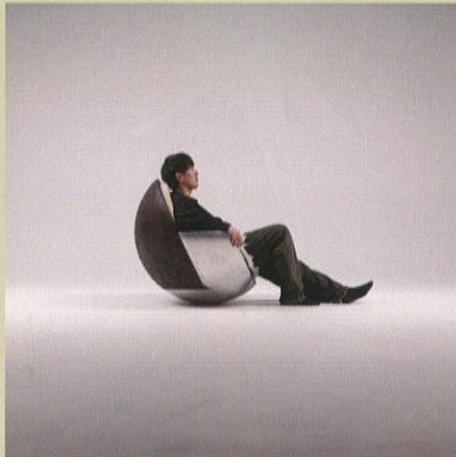
藝大卒展

へサテライト

伊那市は、東京音楽学校（現東京藝術大学）の初代校長を務め、音楽教育の基礎を築いた高遠出身の伊澤修二の功績を顕彰する「伊澤修二記念音楽祭」を東京藝術大学音楽学部の学生たちを招いて1987年から毎年開催しています。また、美術館建設を契機に美術の分野でも、当時東京藝術大学学長の平山郁夫氏や宮田亮平氏らの絶大なる支援を得て、提携・協力を進めてきました。2026年が東京藝術大学との交流40年目にあたることを受け、この度、卒業・修了作品展（卒展）の一部を伊那市で開催する運びとなりました。毎年上野で行われる卒展は、学部と修士を合わせて約450名（美術学部・美術研究科のみ）の卒業生・修了生によるもので、年々盛り上がりを見せています。その中から各科各専攻の優れた作品を集めて長野の地でご覧いただけます。東京藝術大学における多様な表現の数々とエネルギッシュな作品をどうぞご堪能ください。

作家紹介

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 今井 菜々美
日本画 修士 | 立川 朋恵
日本画 修士 | 村松 辰之介
油画 学部 |
| 藤田 汐海
油画 学部 | 勝木 直人
彫刻 修士 | 雨田 まなつ
彫刻 学部 |
| 市丸 蓉
工芸・彫金 学部 | 蓮本 南欧
工芸・鋳金 学部 | 進藤 あすか
デザイン 修士 |
| 後藤 拓真
デザイン 学部 | 棚田 悠介
建築 修士 | 三好 駿平
建築 学部 |
| 青木 諒花
先端芸術表現 学部 | 高田 清花
先端芸術表現 学部 | 篠崎 遥香
美術教育 修士 |
| 鶴田 千尋
文化財保存学・
保存修復日本画
修士 | 畑山 樹
グローバルアート
プラクティス
修士 | |



1. 後藤拓真《50-GAN・双丸》 2. 勝木直人《hollow shell「円柱」》
3. 今井菜々美《星を先に投げていた》 4. 市丸蓉《拝啓 今を生きた私たちがへ》

関連イベント

●オープニング式典（申込不要）

日時 | 令和8年3月21日（土）10:00開会（9:00開場）
会場 | 信州高遠美術館ロビー
料金 | 入館料のみ

◎開会に先立ち東京藝術大学音楽学部学生によるピアノ独奏があります。

演奏 | 穂刈愛琳（音楽学部器楽科ピアノ専攻4年）
曲目 | 「F.ショパン ワルツ第4番 ヘ長調 作品34-3」
「F.ショパン 華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 作品22」

◎式典終了後に出品者によるギャラリートークを行います。

●日比野克彦学長によるトークイベント（要予約）

日時 | 令和8年3月28日（土）17:00～
会場 | 信州高遠美術館ロビー
料金 | 入館料のみ

定員 | 100名（定員に達し次第締切）
予約 | 2月27日（金）9:00～ 信州高遠美術館に電話申込

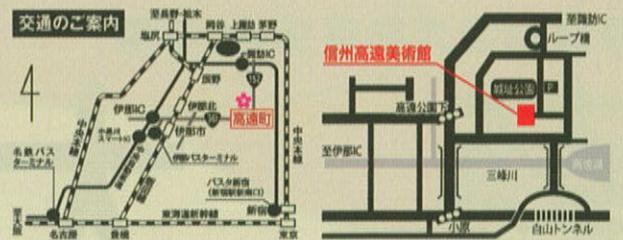


©Ayane Shindo



信州高遠美術館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠400番地
TEL 0265-94-3666
FAX 0265-94-3936
E-mail t-bjk@inacity.jp



- 交通のご案内
- 伊那I.C. から国道 361 号を經由 30 分
 - 諏訪I.C. から国道 152 号を經由 50 分
 - 小黒川スマートI.C. から 25 分

※高遠城址公園さくら祭り期間中は交通規制・駐車場利用規制が行われます。さくら祭りの情報をご確認ください。



【主催】伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館【企画協力】東京藝術大学、（一社）東京藝術大学芸術創造機構【後援】長野県、信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野支局、毎日新聞長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、信州・市民新聞グループ、アド・コマーシャル、アド・プランニング、（公財）信毎文化事業財団、（公財）八十二文化財団、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、信州美術会伊那支部、伊那美術協会、伊那市民美術会、伊那市観光協会

このチラシを1枚お持ちいただくと、入館料が100円割引になります。（1グループ様まで有効）

信州高遠美術館

日比野克彦学長による トークイベント

令和8年

3月28日【土】

17:00-(16:30開場)

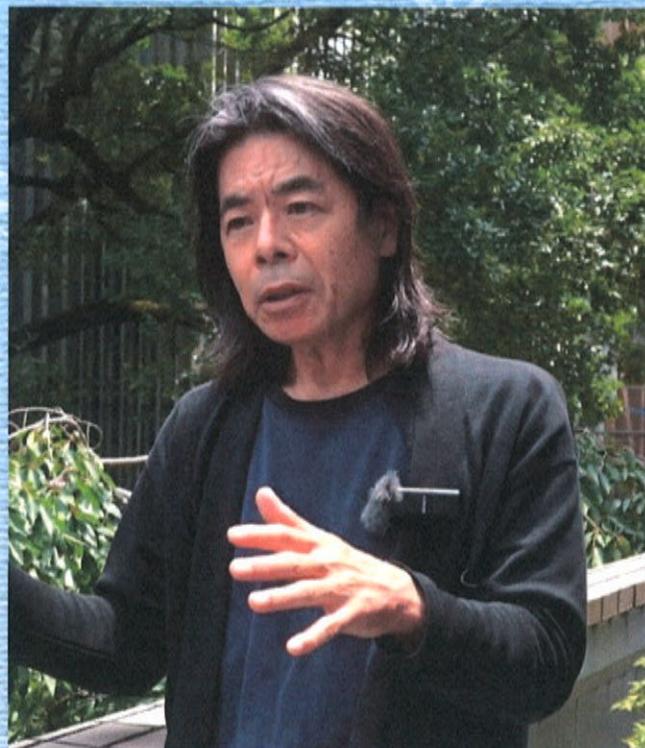
【会場】信州高遠美術館ロビー

【料金】入館料のみ必要です(一般800円)

【定員】100名(定員に達し次第締め切り)

【受付】2月27日(金)午前9時から電話のみ
受け付けます。

(信州高遠美術館:0265-94-3666)



伊那市と東京藝術大学の連携40年にあたり、これまでの交流を振り返りつつ、東京藝術大学が日本の各地域で行ってきた文化事業やアートの力を社会に生かす取組を紹介し、また、そのなかで藝大生や卒業・修了生がどのように活躍しているかについてお話しします。

日比野 克彦 Hibino Katsuhiko

1958年岐阜生まれ。東京藝術大学に在学していた80年代より作家活動を開始し、社会メディアとアート活動を融合する表現領域の拡大に大きな注目が集まる。その後はシドニー・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレにも参加するなど、国内外で個展・グループ展、領域を横断する多彩な活動を展開。また地域の場の特性を生かしたワークショップ、アートプロジェクトを継続的に発信。現在、岐阜県美術館、熊本現代戊戌間にて館長、母校である東京藝大にて1995年から教育研究活動、2022年から学長を務め、芸術未来研究場を立ち上げ、現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。